

科目名	情報科教育法1 Instructional Design of Information Study 1	3 年前期 教職科目 必修 2 単位	
担当者名	渡辺 博芳	授業形態	メディア授業 (M)
科目概要	この授業では、高等学校の普通教科「情報」および専門教科「情報」の教育目標と内容を理解し、情報教育の教科教育法を学び、教員として教壇に立つための基礎となる力を養います。平成 21 年は、高等学校では平成 25 年度から学年進行で実施される学習指導要領が示される年であるので、現在の学習指導要領と新しい学習指導要領の両方を教材として学習します。その上で、情報科に特徴的な内容を取り上げ、その取り扱いや指導法を考え、教科「情報」の教育のための基礎的な知識を身に付けます。授業の後半では普通教科「情報」の 1 科目をとりあげ、年間計画と単元計画の作成を試みます。		
科目内容構成	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション・学習指導要領の改訂 2. 情報通信技術とは・情報教育とは 3. 高等学校普通教科「情報」の内容 4. 高等学校専門教科「情報」の内容 5. 授業設計(インストラクショナルデザイン)と学習評価 6. 情報の教具としてのソフトウェア 7. 情報科の指導方法を考える「問題の解決と処理手順の自動化」 8. 情報科の指導方法を考える「アンプラグドの方法」 9. 情報科の指導方法を考える「コラボレーションとプレゼンテーション」 10. 情報科の指導方法を考える「メディア教材の開発と活用」 11. 授業体系を考える「中学技術家庭の内容、他教科との連携を考慮した普通教科情報」 12. 授業体系を考える「普通教科情報の年間計画と単元計画(1)」 13. 授業体系を考える「普通教科情報の年間計画と単元計画(2)」 14. まとめ：情報科教育法 1 で学んだことを整理する 15. 科目習得試験 <p>※ 1～14 までの各回において、小テスト、レポート、進捗報告、プレゼンテーションなどの課題を課します。課題の完成度が不十分な場合は再提出してもらいます。</p>		
成績評価の方法・基準	各回の課題が受理されていること、かつ、科目習得試験で 60%以上の得点を獲得していることが合格条件です。合格の基準を満たした場合に基本点 60 点を与え、各回の課題の得点、科目習得試験の得点、コース管理システムでの投稿やアクセスの状況得点を加算して成績を付けます。		
使用テキスト	<p>高等学校学習指導要領 文部科学省(http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/990301d.htm)</p> <p>「高等学校学習指導要領解説 情報編」開隆堂出版 文部科学省編 (2000)</p> <p>高等学校普通教科情報教科書「みんなの情報B」「みんなの情報C」 オーム社</p>		
使用教材	コース管理システム WebCT に掲載された教材コンテンツ		
その他	本科目は情報科教育法 2 の前提科目となります。一部の課題において、パソコンの画面をキャプチャする形で履修者自身が行うプレゼンテーションをコンテンツ化して提出してもらいます。したがって、それを自分自身でできるか、コンテンツ化のために宇都宮キャンパスまで来校できるかのどちらかが可能なことが必須条件となります。なお、手に入りにくいテキストについては教務チームに相談してください。		